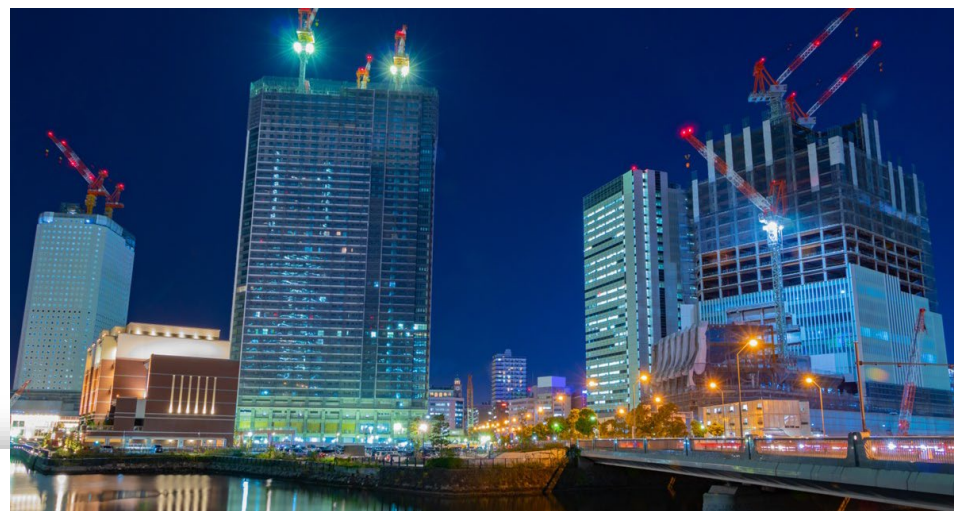
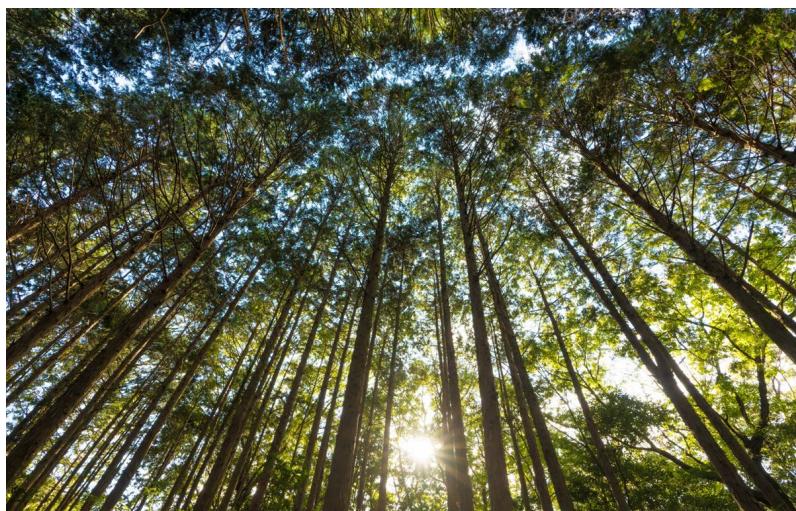


# 個人投資家向け会社説明



株式会社やまびこ（東証プライム：6250）

2024年9月6日

1. やまびことは？
2. 事業説明
3. 中期経営計画
4. 業績・株主還元
5. 本日のまとめ

# 1. やまびことは？

設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町1-7-2
売 上 高	151,400百万円（2023年12月期連結）
連結子会社数	14社※（国内6社・海外8社／2023年12月末現在） ※持分法適用関連会社1社を除く
従 業 員 数	3,241名（2023年12月末現在／連結）
上 場 市 場	東京証券取引所プライム
証 券 コ ー ド	6250

# やまびこの歩み



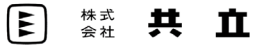
世界初となる手持ちブロワに加え、国内初の背負式刈払機やスピードスプレーヤなどを開発



## 子会社

**ECHO** エコー・インコーポレイテッド  
設立 1972年 (昭和47年)

(株)共立が1972年に前身となるアメリカ共立を設立  
50年以上にわたり米国市場で事業を展開



設立 1947年 (昭和22年)



株式会社やまびこ

設立 2008年 (平成20年)

## 新ダイワ工業株式会社

設立 1952年 (昭和27年)



電動チェーンソーを経て、世界初となる混合式4サイクルエンジンやマルチ発電出力などを開発

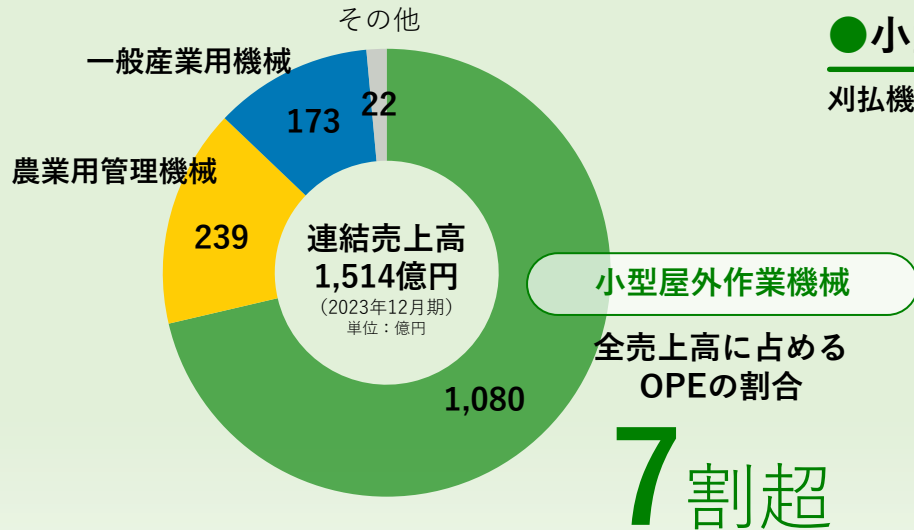


2000年代の排出ガス規制強化・業界再編を経て、歴史と実績のある2社が合併。経営基盤強化とシナジー効果の発揮により、持続的成長を目指して設立



# 小型屋外作業機械（OPE）を中心に3事業を展開

## グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー



### ● 小型屋外作業機械（Outdoor Power Equipment）

刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ロボット芝刈機など



### ● 農業用管理機械

防除機、ラジコン草刈機など



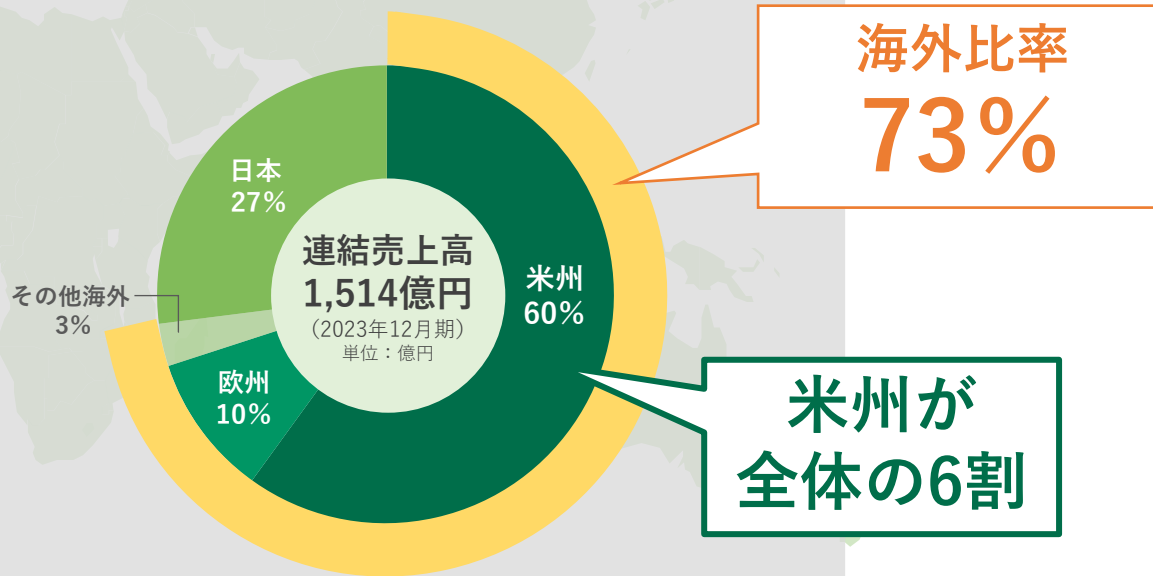
### ● 一般産業用機械

発電機、溶接機など



## 海外売上高比率 7割超

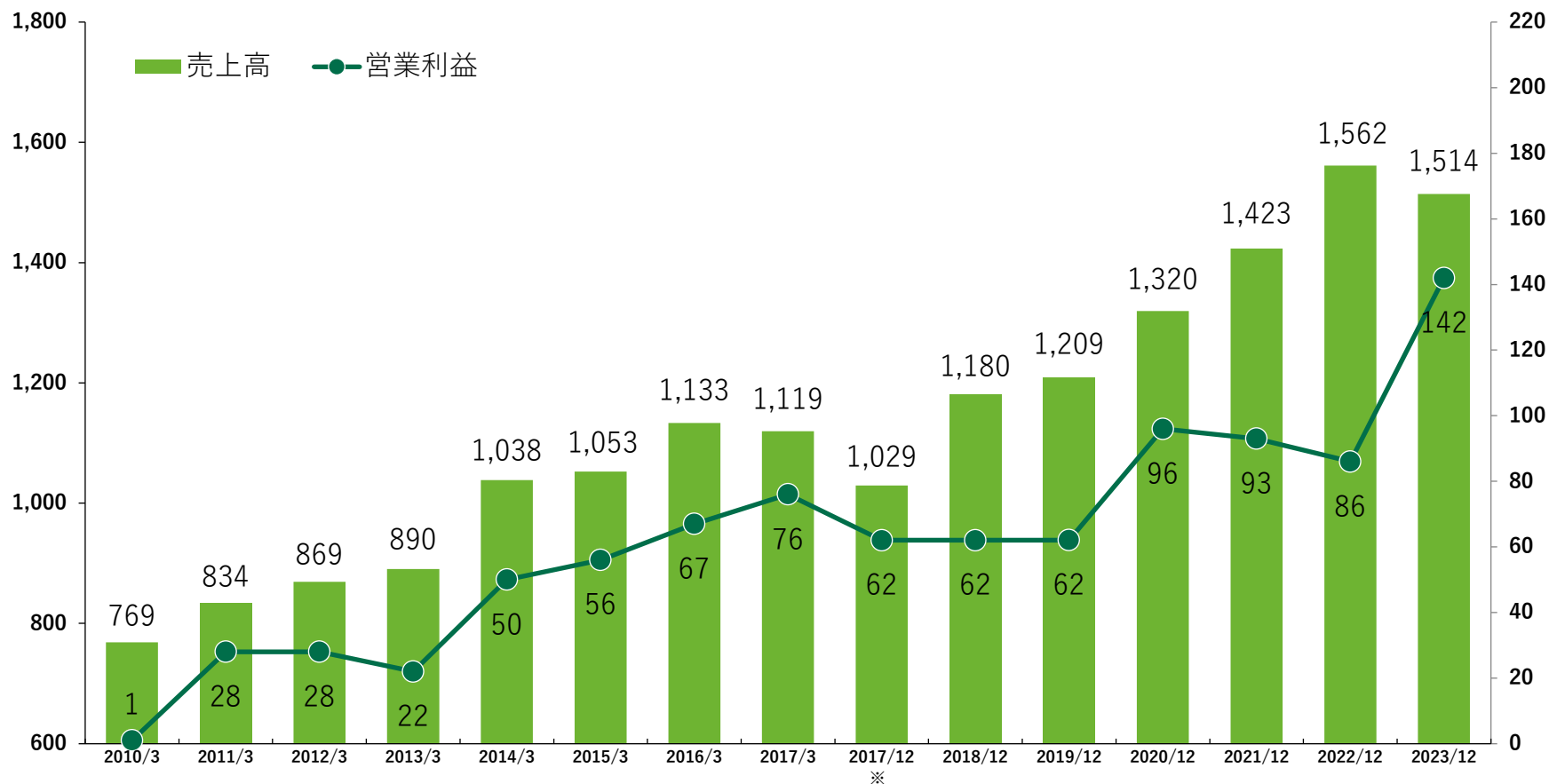
主力のOPEは海外での需要が高く、海外の売上高比率は7割を超えています。  
特に米州の売上は、全体の6割を占めています。



## 売上高・営業利益ともに順調に成長

(売上高：億円)

(営業利益：億円)



※決算期変更により9カ月決算



## 2.事業概要

# 事業セグメント：小型屋外作業機械（OPE）①



売上高構成比

**71.3%**

(2023年12月期)

OPEの動力源にはエンジンやモーターを搭載  
高出力で高耐久、操作性に優れる当社製品は作業効率  
の高さからプロユーザーに支持されている

刈払機



チェーンソー



パワーブロウ



ロボット芝刈機



## エンドユーザー

海外



緑地管理業者



ホームオーナー

国内



農家



林業家

※OPE (Outdoor Power Equipment)

## 海外OPE事業の成長を支える2つの要因

世界最大のOPE市場である  
米国における強固な事業基盤



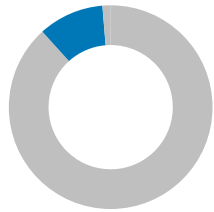
- ✓ 米国は日常的な緑地管理が文化として根付く世界最大のOPE市場
- ✓ 1972年から50年以上にわたり事業を展開
- ✓ 全米最大のホームセンターをはじめとした幅広い流通網を構築

緑地管理の専門業者（プロユーザー）の  
作業ニーズを満たす製品開発



- ✓ プロのニーズを満たす高品質・高耐久性な製品
- ✓ 独自の環境対応技術で小型エンジンの厳しい排ガス規制をクリア
- ✓ 動力源を問わず作業効率の高い製品を開発

# 事業セグメント：一般産業用機械



売上高構成比

**11.4%**

(2023年12月期)

建設工事・防災・減災のほか  
資源採掘現場やイベント会場等で用いられる  
機械の製造販売



ハイブリッド溶接機

**2023年度省エネ大賞受賞**

**CO<sub>2</sub>排出量を約60%削減**  
脱炭素社会へ貢献する革新の溶接機



発電機



投光器

## 技術的な強み

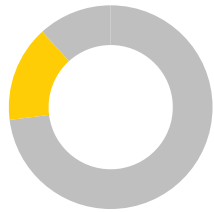


世界初の三相/単相3線  
切替なし同時出力可能  
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」  
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた2つのエコ機能の開発

# 事業セグメント：農業用管理機械



売上高構成比

15.8%

(2023年12月期)

国内における防除機械、  
北米における農作物収穫機械の製造販売

乗用管理機



スピードスプレーヤ



ラジコン草刈機



ポテト収穫機(北米)



## 技術的な強み

培った防除技術にICTを融合し、  
スマート農業に貢献

### 送風・噴霧・散布技術

- 防除環境に最適な散布を実現
- やまびこノズルで農薬飛散を低減



やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）  
(平均粒子径110~270 $\mu$ )



### ICT

- 全球測位衛星システムにより圃場内に農薬をムダなく散布
- 圃場の形状に合わせて散布エリアを自動制御する世界初の技術



# 国内・海外のユーザー

国内・海外で多様なお客様に製品を提供し、緑地管理と街づくりに貢献

## 国内のエンドユーザー



農家

建設・土木・  
鉄工業者



林業家

## 海外のエンドユーザー



緑地管理業者



ホームオーナー

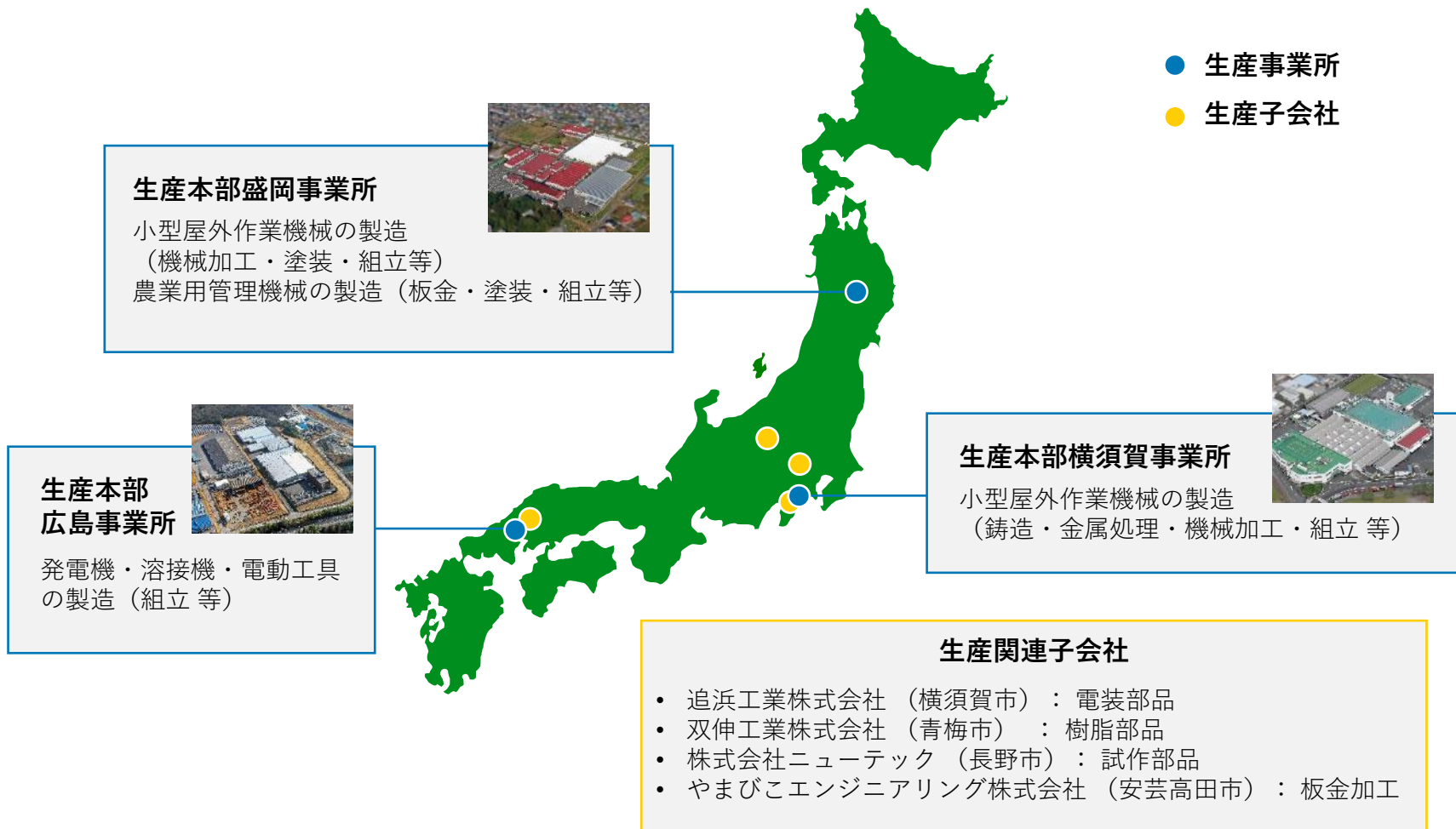


農家・林業家

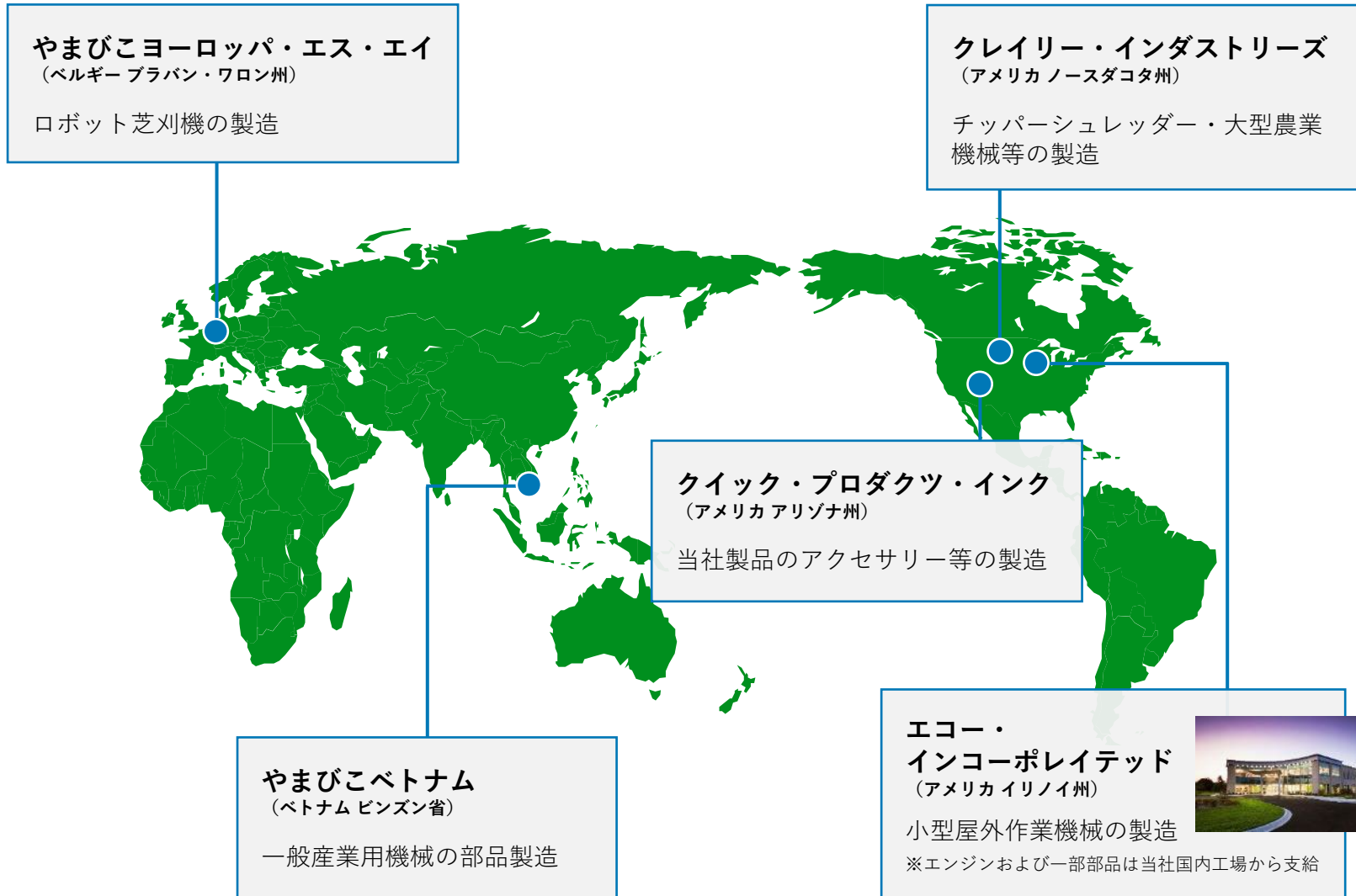


建設・土木業者

# 国内生産体制

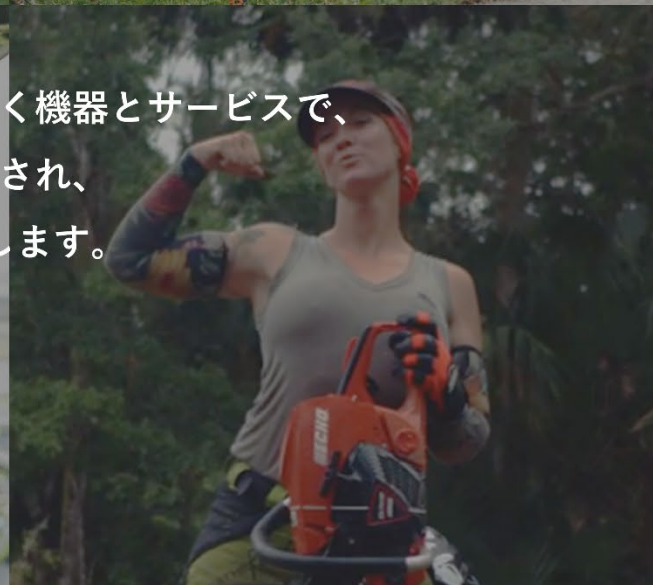
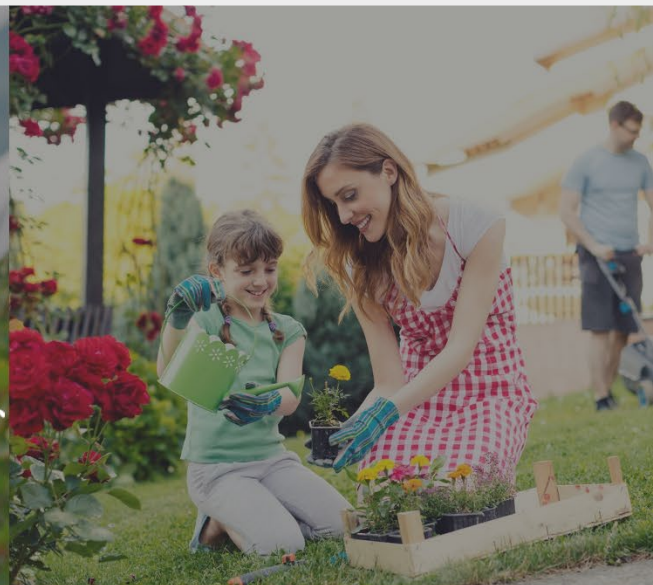


# 海外生産体制

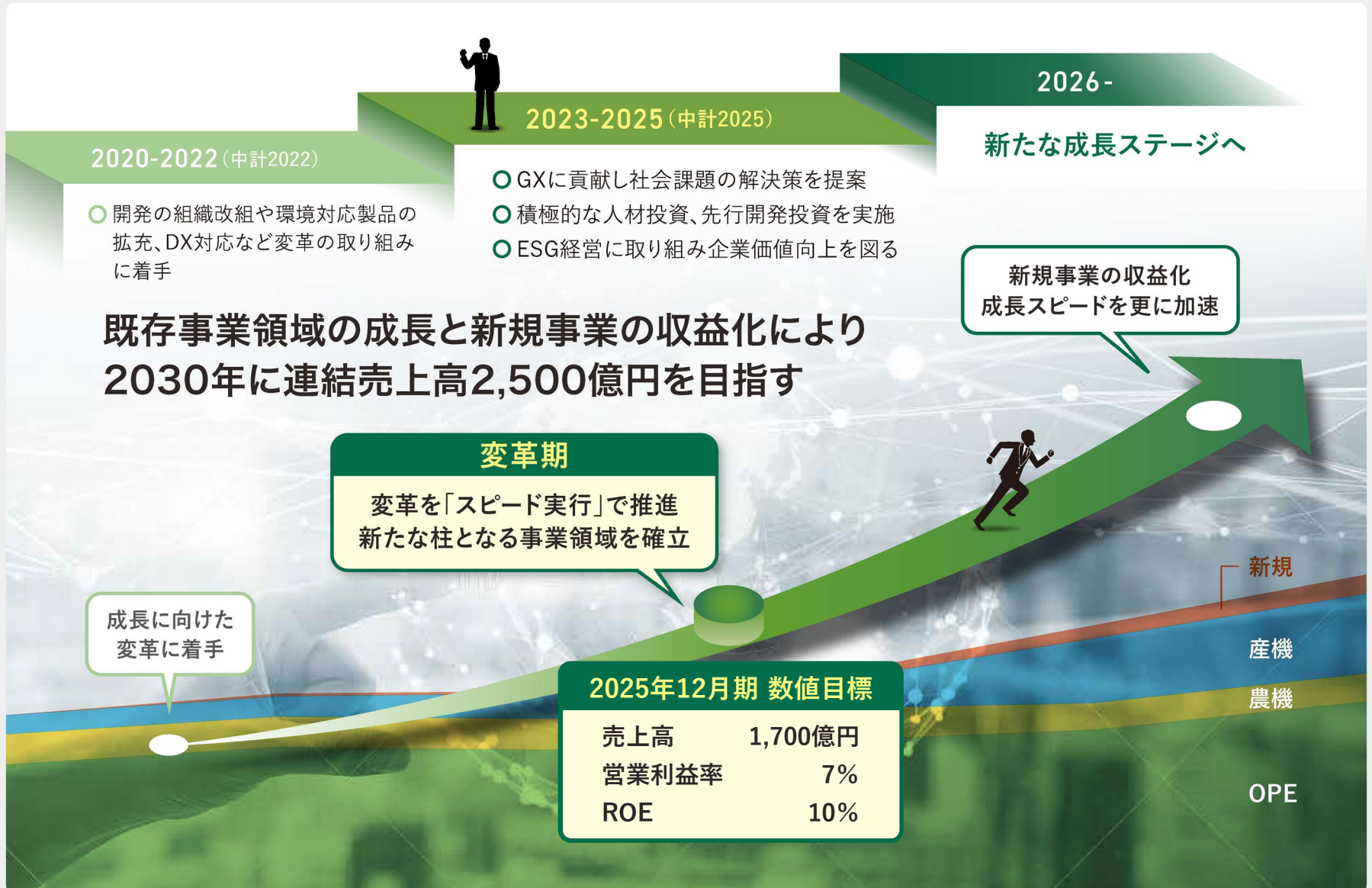




# 3.中期経営計画



# 中期経営計画2025の位置づけ



企業理念と経営目標の実現に向けて、事業戦略に基づく諸施策に取り組む

### 既存事業領域

1

#### 事業規模拡大 (既存事業領域の成長)

環境対応技術や  
アライアンスを通じ  
市場の課題解決に寄与

2

#### 収益性の改善 (稼ぐ力の向上)

生産効率・営業効率  
の改善に取り組む

### 新規事業

3

#### 新規事業創造 への取り組み

新規開発テーマや  
アライアンスを推進

4

#### ESG経営の実践

事業戦略に加えESG経営に取り組み  
社会課題の解決に貢献

5

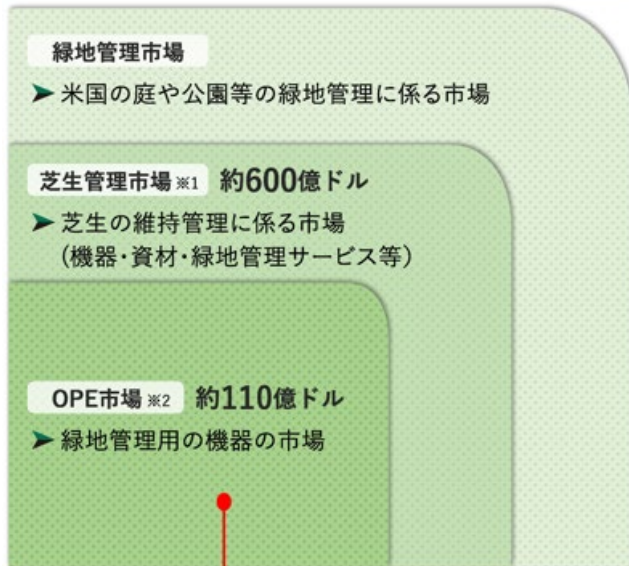
#### やまびこのDX戦略

デジタル技術を活用し中長期的な  
企業価値向上を目指すDX戦略を策定

# ①事業規模拡大（海外OPE事業）

先進国で唯一人口増加が見込まれ、持続的成長を続ける米国の経済成長に支えられ、OPE市場は今後も成長が予想される

## 米国の関連市場規模



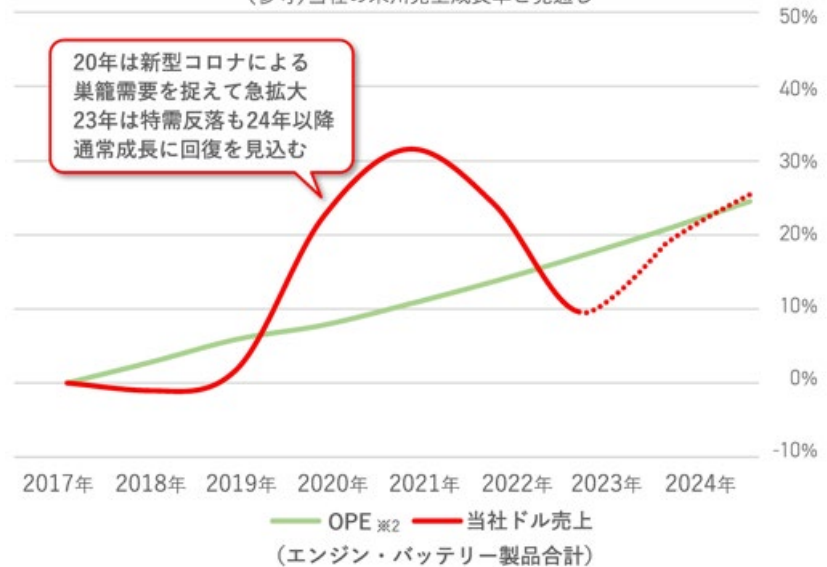
## 当社のターゲット市場



※1 報道機関等の情報から当社推計  
 ※2 Markets and Markets(2020年版)を元に当社作成

## 市場の推移と成長見通し

(参考)当社の米州売上成長率と見通し



米国では庭や公共スペースに芝生を植えることが文化として根付いており、その維持管理に毎年多くの費用が費やされるため緑地管理の世界最大市場となっている。

# ①事業規模拡大（産機事業）

## 産機事業

環境負荷低減と作業効率の向上を目指し、電動化・ハイブリッド化、再生可能エネルギーを取り入れた環境配慮型システムの開発を推進

### 海外市場

好調なインフラ需要が続く北米市場における供給体制の向上

- ▶ 2025年前半に発電機の現地生産を開始し、大手顧客獲得に向け販売強化

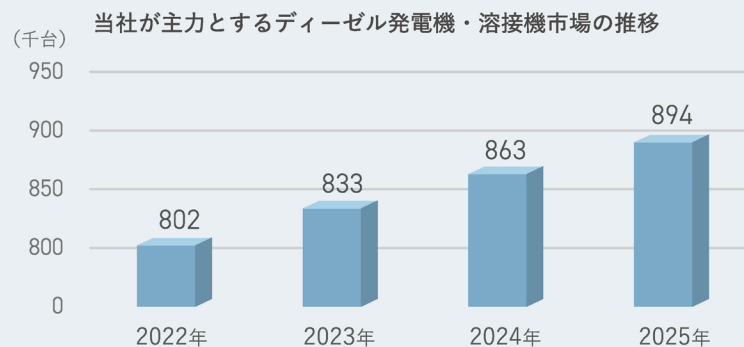
環境性能を武器とした製品の拡販

- ▶ ハイブリッド溶接機や発電機を欧州等の環境意識の高い地域へ販売

### 国内市場

カーボンニュートラル化する市場変化への対応

- ▶ CO2排出量が測定できる発電機の販売を通じて、環境負荷低減が求められる事業者の負担軽減に寄与
- ▶ 2023年度省エネ大賞で、従来機と比較してCO2排出量と燃料消費量を約60%削減できるハイブリッド溶接機「HDW310M-I」が省エネルギーセンター会長賞を受賞



※対象機種：ディーゼル発電機・ディーゼル溶接機  
対象地域：北米、欧州、アジア、中南米、豪州、アフリカ、中近東

※外部調査機関データおよび一部当社での類推により作成



省エネ大賞を受賞したハイブリッド溶接機

「CO2排出量の可視化機能」を搭載した発電機

# ①事業規模拡大（農林事業）

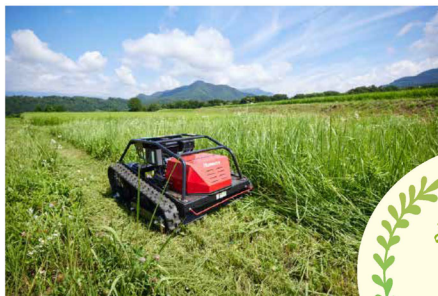
## 農林事業 （国内）

成熟する国内市場に対し、市場が抱える社会課題の解決に寄与する製品を開発

国内チェーントップメーカーとして、伐木需要への対応と安全性を確保した製品を迅速に市場投入するべく他社との協業を積極的に推進

### 省人・省力化に寄与する製品の販売 （ラジコン草刈機）

- 農業就労人口の減少や高齢化の進行等の社会課題に対し、持続可能な農業を目標に省力化・高効率化のための研究開発に取り組む
- 作業負担が大きく重労働である傾斜地の草刈りにおいて、遠隔操作による作業が可能なラジコン草刈機を2023年より販売開始



### 農機メーカーとの バッテリープラットフォームの共通化

- 当社とのシナジーを発揮し、お客様の利便性を高める国内農機メーカー様との連携による既販製品のバッテリー化を通じて、共通バッテリーでのラインアップ化を推進

企業名	製品名
オカモト工業株式会社	バッテリー式耕うん機
株式会社キックアリ	高段敷板用管理機
三井物産株式会社	ハウス内管理作業台車
長谷川農機株式会社	歩行溝切機

※その他メーカーとも協議中



### 森林整備需要への対応

- 林災防<sup>※</sup>の安全講習会に従業員を講師として派遣するほか、販売子会社にて独自に講習会を実施
- 伐木競技大会支援を通じたブランド力向上を図る

※林災防…労働災害防止団体にに基づき設立された厚生労働省所管の特別民間法人 林業従事者・木材製造業従事者に対する労働災害防止の促進や、技術的な指導と援助を目的としている



## ②収益性の改善

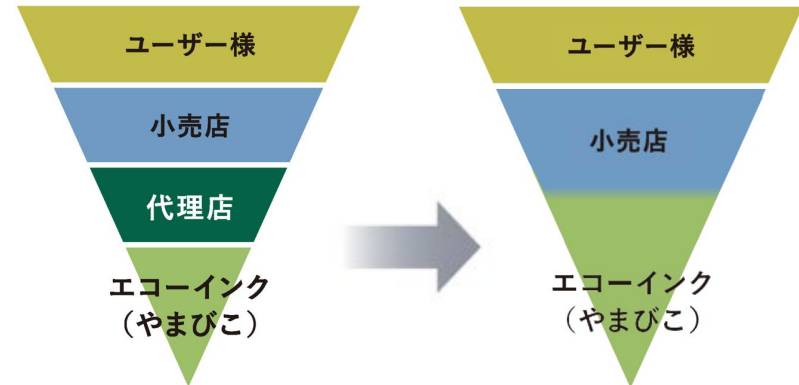


「稼ぐ力」を高め、持続的な成長を確かにする

### DX活用による販売効率の改善

#### 米国子会社による子会社代理店の吸収合併

- ▶ 米国子会社のエコーインクが子会社代理店を吸収合併（2024年9月1日）  
両社のシステムを統合することで、販売業務の効率化と人員の最適化を図る  
米国販売店約2,000店との直接取引開始により、ユーザーニーズを迅速に把握し販売機会を創出



米国子会社「エコーインク」に代理店機能を取り込み販売店との直接取引へ移行  
既に両社のITシステムを統合し、稼働開始

### OPE生産拠点の再配置

#### 中国子会社の愛可機械（深圳）有限公司の解散および清算

- ▶ OPE事業の収益性改善施策の一環として、愛可機械（深圳）有限公司の解散および清算を実施。国内事業所への製造工程の集約により原価低減へ大きく寄与。（2025年3月末清算完了予定）



### ③新規事業創造への取り組み

社会のGXを成長の機会と捉え、異業種を含むパートナー企業との共同開発により、新たな収益の柱となる開発に取り組む

可搬型発電システム  
「shindaiwa®マルチハイブリッドキューブ」  
の実証実験を開始



太陽光パネルと蓄電池、パワーコンディショナーに当社の発電機を組み合わせた可搬型の発電システムであるマルチハイブリッドキューブを開発。6月より(株)技研製作所と共同で実証実験を進め、電源がない建設現場や災害時の電力供給源として販売開始を目指す。

フォーミュラE 2024 Tokyo E-Prixにて  
水素エンジン発電機の長時間安定稼働に  
初めて成功



i Labo(株)と共同開発した水素エンジン発電機の実証機を3月末に開催されたフォーミュラE 2024 Tokyo E-Prixにて実証。水素燃料を燃焼させて発電することで、運転時のCO2排出を限りなくゼロにする点が特徴。イベント会場では10台のフードトラックへ電力の終日安定供給に成功。

## ④ ESG経営の実践

### サステナブルとなるESG経営を実践し中長期的に企業価値を向上

事業活動を通じて、環境、就労人口不足などの社会課題の解決に貢献するとともにガバナンス体制の運用と深化、情報発信の充実に継続して取り組む

#### Environment

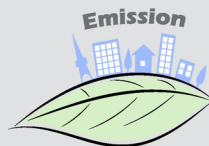
環境



GHG排出量の削減目標を定め削減策を着実に実行



環境負荷の低い製品を開発・販売し市場の環境負荷低減に貢献



#### Social

社会



多様な人材の活用に加え人材育成、社内環境整備など人的資本投資を継続



安全・安心なものづくりで作業事故を低減



農業・林業の次世代育成支援を通じて業界の発展に貢献

#### Governance

企業統治



ガバナンス体制の運用と深化



ESG情報開示の拡充



情報セキュリティ体制の充実



## ④ ESG経営の実践

### サステナブルとなるESG経営を実践し中長期的に企業価値を向上

#### ESG投資指数への選定

- ✓ ESG対応に優れた日本企業を対象とした投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に2年連続で選定



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

#### 環境への配慮

- ✓ バイオ燃料に対応した発電機9機種、溶接機10機種を発表
- ✓ 引き続き環境に配慮した製品を開発・販売し、市場の環境負荷低減に貢献



shindaiwa  
TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

当社はTCFD提言に賛同しています

#### 人的資本投資の継続

- ✓ 全ての従業員が生き生きと働ける環境の整備
  - ⇒ 仕事と子育ての両立支援
  - ⇒ 女性社員のキャリア形成支援
  - ⇒ 従業員の健康保持・増進の取り組み



#### 持続可能なサプライチェーン構築

- ✓ 取引先と共存共栄の関係を築き、サプライチェーン全体の付加価値向上を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表



## ⑤ やまびこのDX戦略

### DX戦略の着実な実行により企業価値向上を図る

デジタル技術の活用による中長期的な企業価値の向上を目指し、戦略に基づいた各施策を着実に実行していく。2023年4月には経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得。



#### 業務自動化

- 業務可視化/分析
- 業務プロセス標準化
- 業務自動化(RPA等)の活用

#### 経営革新

- 基幹システム改修
- 業務データ可視化

#### 工場革新

- 生産設備稼働情報の収集/分析
- 業務の最適化

#### 販売革新

- 販売/流通の最適化
- 新製品とサービスの販路構築

#### 新規ビジネス創出

- 脱炭素/環境保全/地域防災対応/就労人口の減少と高齢化等に対応する産機製品の遠隔稼働モニタリングサービスの拡充

生産性向上

競争力向上

#### 人材育成

##### やまびこデジタルアカデミーの開校

- 各職場にてデジタルを活用した業務改善を推進できる人材の育成を目的として、昨年に引き続き、やまびこデジタルアカデミーを開校
- 2024年度も各部署から2期生を選抜。生成AIを含む新たな教材を用意し、各部の課題解決策の策定とその検証について学習

##### 全社員のデジタルリテラシー向上

- 全社員に対し基礎レベルのE-ラーニングを実施。2023年度に全社員が受講完了済み
- 2024年度は2023年のプログラムをベースにステップを上げたコースを選定し、全社員を対象に継続実施
- 業務効率化の推進に向けた取り組みとして、事務作業の自動化が可能なRPA (Robotic Process Automation) ツールの社内研修を実施

# 4.業績・株主還元

## 2024年12月期 通期予想

- 売上高は、海外OPEにおける北米市場のホームセンター向け販売が順調に推移する見通し。国内は発電機・溶接機の堅調な販売が続く一般産業用機械、新製品販売が好調な農業用管理機械を中心に増収を見込む。
- 損益面は、中国子会社の清算が小型屋外作業機械の原価低減に寄与していることなどから、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも過去最高益を見込む。

(百万円)	23/12期 実績		24/12期 予想	構成比 (%)	前年比 (%)
		構成比 (%)			
売上高	151,400	100.0	<b>160,000</b>	<b>100.0</b>	+ 5.7
売上原価	104,095	68.8	<b>106,000</b>	<b>66.3</b>	+ 1.8
販管費	33,073	21.8	<b>36,500</b>	<b>22.8</b>	+ 10.4
営業利益	14,230	9.4	<b>17,500</b>	<b>10.9</b>	+ 23.0
経常利益	14,066	9.3	<b>17,000</b>	<b>10.6</b>	+ 20.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,097	6.0	<b>13,000</b>	<b>8.1</b>	+ 42.9

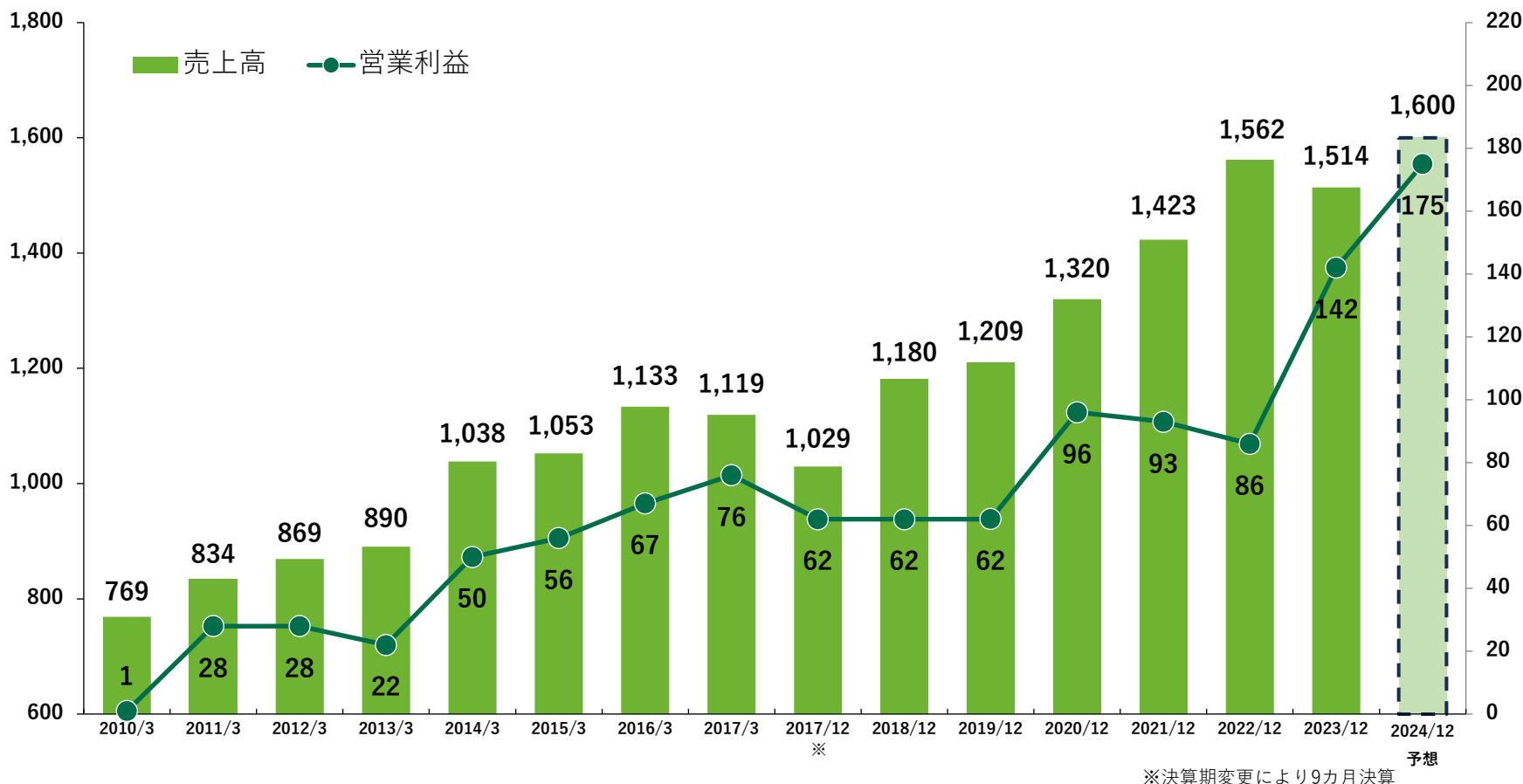
### ■ 為替レート

1ドル	141 円	<b>145 円</b> (下期予想 140円)	+ 3.1
1ユーロ	151 円	<b>156 円</b> (下期予想 150円)	+ 3.1

## 2024年12月期は売上高1,600億円、営業利益175億円の過去最高を見込む

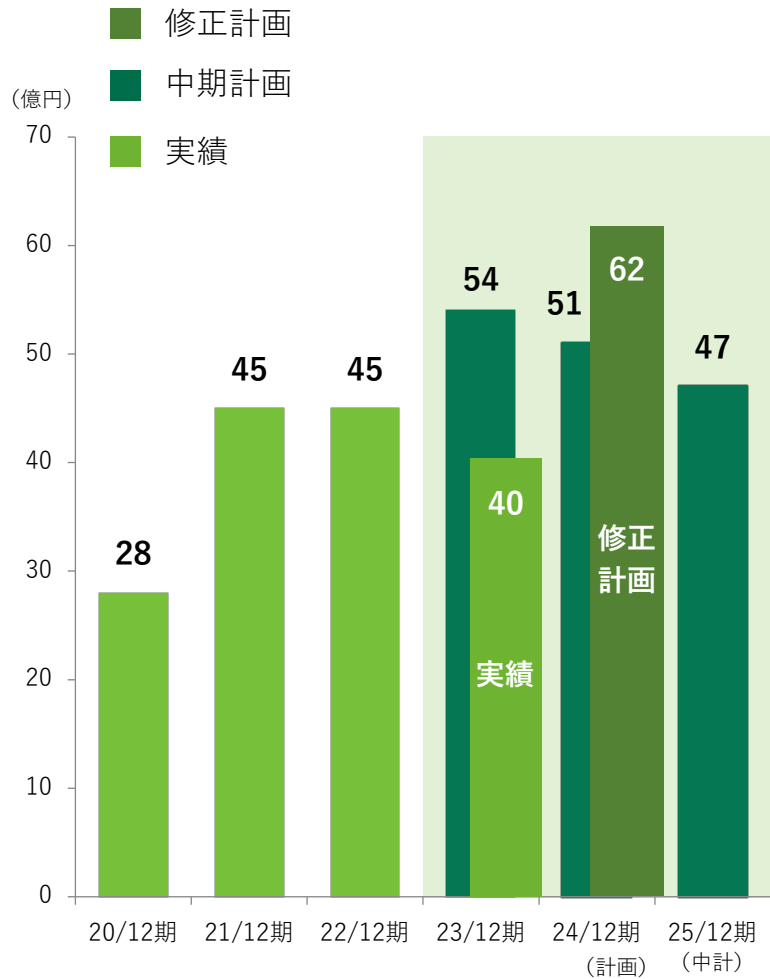
(売上高：億円)

(営業利益：億円)

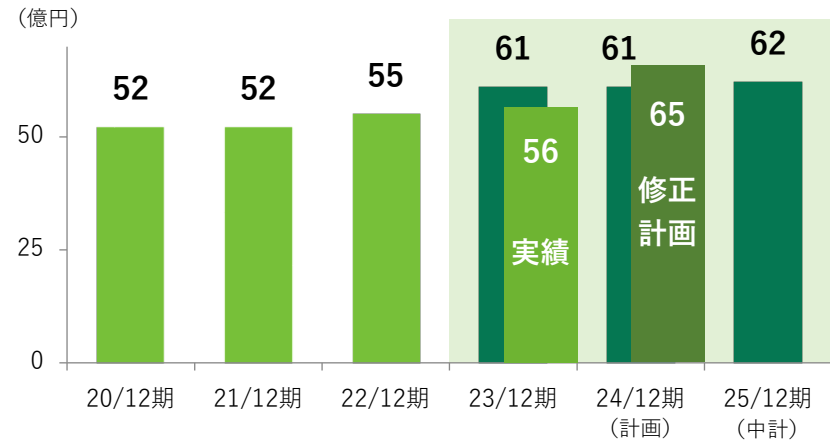


# 投資計画（設備投資・研究開発費・減価償却費）

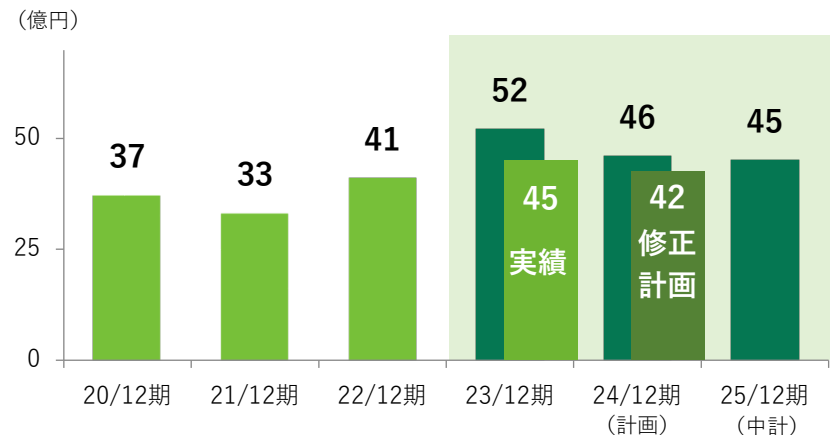
## 設備投資



## 研究開発費



## 減価償却費

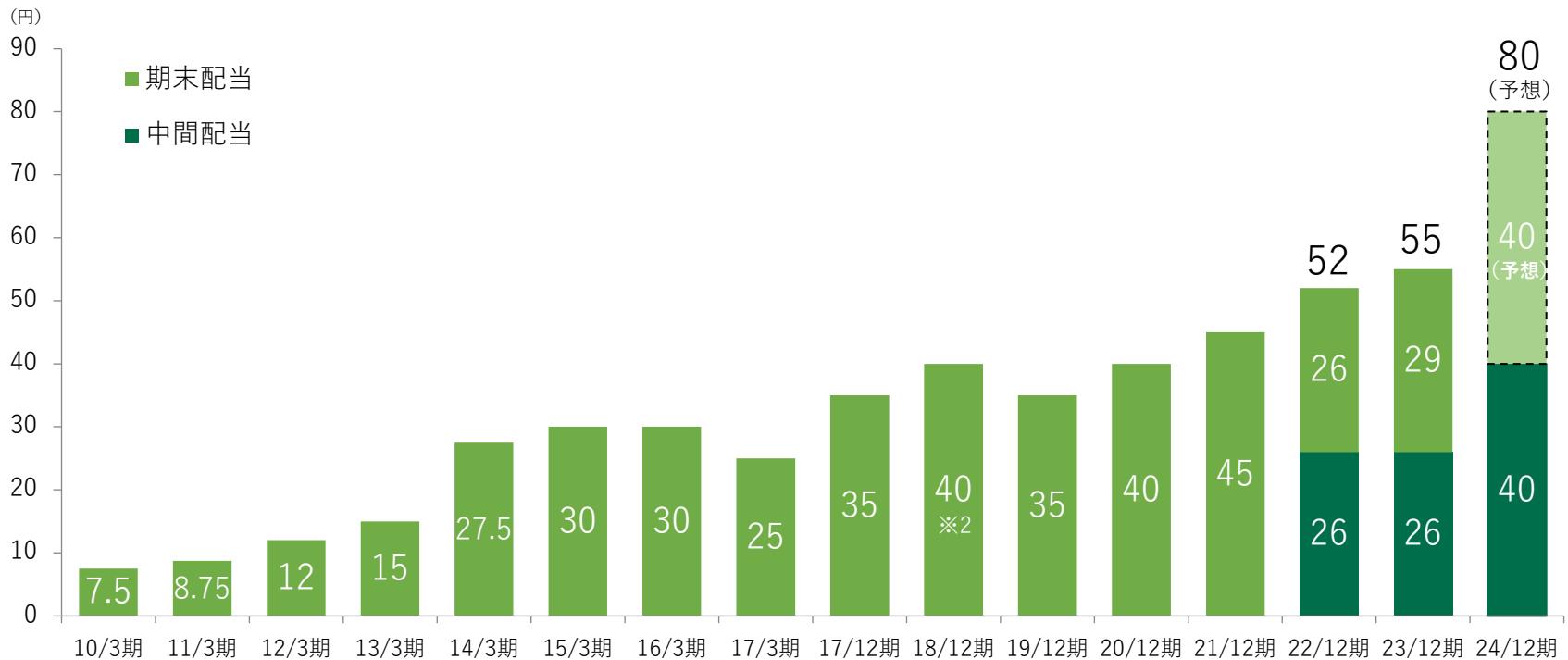




# 株主還元政策

## 過去の配当実績に基づき、安定的な配当を継続

- 経営環境や業績および財務状況を勘案するとともに、株式市場の動向も注視して総合的な還元策を検討
- 中長期的な企業価値向上を見据え、自己株式の取得を実施（2024年3月～2024年5月に30万株を取得済）
- 今期の配当は、第2四半期の業績および中長期的な展望を踏まえ、期初予想から20円の増配を予想



※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。

※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

中期経営計画2025の策定時に資本コストや資本収益性を分析しROE10%以上を目標として設定  
各種施策に取り組むことで企業価値の向上を図る

## PBR (倍)

(2020年1月～2024年9月4日)



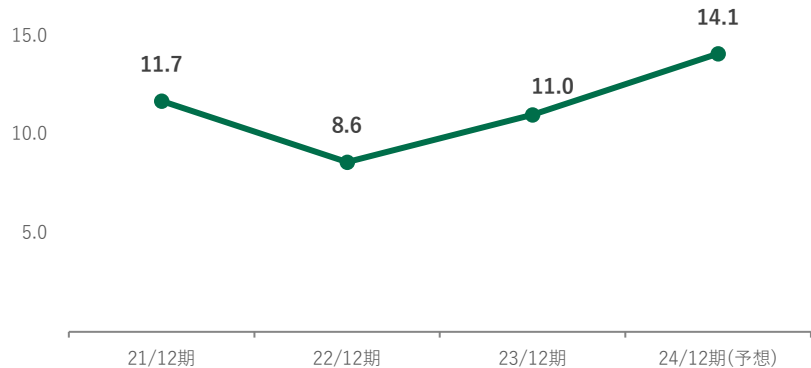
## 改善施策

### 資本効率性の向上

中期経営計画2025の事業戦略に基づく成長戦略や株主還元策を実行し資本効率性の向上を目指す

- ▶ 既存事業の成長と新規事業創造への取り組み
- ▶ 開発・生産効率の抜本的な改善
- ▶ 経営環境等を踏まえた適切な株主還元の実施

## ROE (%)



### 成長性への理解促進

IR活動の強化により、株式市場における認知度向上を図るとともに、当社の成長性に対する理解を促進

- ▶ ESG情報を含む開示情報の充実
- ▶ 投資家との対話機会の拡充

# 株価推移 (2009年～2024年9月4日)

9月4日時点：株価（終値） 2,298円 / 配当利回り 3.48% / PER 0.92倍



1. グローバルに展開する屋外作業機器の総合メーカー
2. 主力の海外OPE事業は米国での強固な事業基盤とプロに支持される製品力を武器に中長期的な成長を見込む
3. パートナー企業と協力し新規事業創造を積極的に推進
4. 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付け、企業価値向上に努める

